

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐山高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月10日(月) 14:30~16:30
- 3 開催場所 岐山高等学校会議室
開催にあたり、委員による探究活動発表会(授業)の参観を実施した
- 4 参加者 委 員 河崎 哲嗣 岐阜大学教育学部 数学教育講座 教授
石井 郁夫 長良東自治会連合会 会長
内田 真樹 長良東民生委員 主任児童委員
若井 悟 本校元同窓会長
田中 博之 本校PTA副会長

学 校 側 増田 泰志 校長
溝下 肇 教頭
山田 茂雄 教頭
川口 晋 教務部長
助川かおり 生徒支援部長(代理)
小森 美穂 進路支援部長
小島 隆史 教務副部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 探究活動発表会(授業参観)についての感想

感想1: 良い発表をしていたが、器具・環境が少し残念であった。発表を聴ける環境設定が必要か。

感想2: マイクの使用・不使用で聞き取りやすさが違うため、ぜひ全員がしっかりと聞ける環境設定を。1年生が聞くことで来年度へ向けての良いきっかけになると思う。

感想3: 他の発表会では、生徒がデータを使用して考察するのはいいが、抽象的な結論を出していることを指導した。岐山生の発表も根拠となるデータが乏しく、テーマへの掘り下げが無い(当たり障りのない結論であった)のが残念であった。全国的な探究においても同じような課題がある。

感想4: どれくらいの時間をかけて、今回の発表に至ったのかが気になった。ネットにあるデータのための班もあれば、外部に働きかけて動いている班もあった。今後も生徒自ら自主的に行動できる力を養成できる活動にしていければよい。

感想5: AIの発表のブースを見ていたが、一生懸命な発表、今話題のテーマが多くあり良かった。

(2) 岐山高校の教育活動について（令和6年度を振り返って）

【行事関係】

意見1：12月のベトナム研修は生徒への報告などはあるのか。

⇒来年度4月の対面式にて来年度新入生も含めた報告会を予定している。

⇒来年度7月にベトナムから本校へ来日予定。1月に本校からベトナムへ派遣予定。

ベトナム側の渡航形態や日程がまだはっきりとしていなく、岐山高校としても引率に関する予算も課題として存在するため、交流については、今後の流れとして定まった形とはなっていない。引き続き交流は続けていく。

【教務関係】

意見1：授業アンケートの実施形態はどのようなものか

⇒生徒が答える形でおこなっている。デジタル上で回答し、集計している。教員は、その結果を見ることで実践に生かしている。

意見2：他校では行っているのか。

⇒他校でも何らかの形で行っている。

意見3：置き勉強はあるか。

⇒するなという指導はしていない。

意見4：教材が多く、毎日すべて持ち帰らせる指導は不可能だと思われる。

意見5：学習の習慣化を身に付けさせるのはいつの時代も難しい。今もそうであるか。

⇒同じである。「授業で勝負」を念頭に授業実践の充実と学力向上を図っている。

【生徒支援部】

意見1：8時25分着席は遅刻となるのか。

⇒遅刻にはならないが、落ち着いて準備をする時間として設けている。正担任は教室でほぼ待機、副担任は廊下などで教室に入ることを促している。

意見2：「躍進岐山みんなの会」で保護者も参加するとあるが、どうおこなったのか。

⇒保護者にも生徒とともに協議グループに入ってもらった。自分の子どもと同じグループというような形態ではない。保護者の参加は少数だったので

意見3：様々な年代のお話を聞けることは生徒にとってもよいと思う。今後も続けてもらいたい。

【進路支援部】

意見1：塾の影響は大きいのか。

⇒8割の生徒が入塾している。おそらく、進学塾が1割。学習補助が7割。

意見2：把握しているのはどのように。

⇒進路希望調査で把握している。

【特別活動部】

意見1：他校の情報は入ってくるのか。5分前着席は中学生回帰だと感じた。自身の周辺には長良高校の方が人気である。長良高校の人気はなんらかの理由があると思う。OBの立場からは新聞などからの発信は楽しみ。大垣北や岐阜高の野球部関連の報道で影響があったように、岐山からも発信が多いと嬉しい。「岐山」の名前が出る活動をしてほしいし、人気となってほしい。

⇒本日の探究活動発表会について、岐阜新聞社の取材があった。後日、新聞に掲載される日をお待ちください。

「躍進岐山みんなの会」を受けて

⇒制服については「現状のままがよい」という意見が多数であった。制服着用については、フォーマルウェアデーに着用する形とする。女子が着用するリボンは現状、準正服という形であるが、好評であり、着用したい生徒が多い。通販で購入している形であったが数の確保が難しく、今後は制服業者に作成してもらい、全員着用可の一部制服としたい。値段は2,000円程度となる。

意見 : なし (委員の同意を得た。)

⇒恒久的な提供ができるような形としていきたい。

(3) スクール・ミッションの策定について

⇒理数科設置校であることを柱に、教員間での複数回での話し合い、つなぐ会での検討、教育委員会からの指導をもとにスクール・ミッションとスクール・ポリシーの最終形を提案する。

意見 : なし (委員の同意を得た。)

⇒スクール・ミッション、スクール・ポリシーは資料にある形とする。

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会では、今年度の本校の年間行事の実施状況や学校経営計画を踏まえた実施状況および報告について承認を得た。
- ・スクール・ミッションの策定およびスクール・ポリシーの変更について、修正・変更案の承認を得た。
- ・制服に関する事で、ネクタイ・リボンについての準制服化および販売についての準備を進めることの承認を得た。